

<学校名> 羽生市立新郷第一小学校

<所在地> 羽生市大字上新郷5716

<電話> 048-561-0409

<本事例の特徴>

本校では、外国籍の児童が現時点では一人もいない。しかし、児童のグローバル化を図るためにも、校舎内（階段や廊下壁面など）の児童の目に触れる場所に掲示物を掲示している。常に児童の目に英単語（数字・月など）が触れられるようにし、簡単な英単語などは生活の中でも児童が使っている場面がみられる。

<具体的な取組や成果>

(1) 外国語教育や国際理解教育に関する特色ある事例

教職員個人の海外体験研修会や研修会で学んだ海外派遣教員の体験をもとに、児童に海外の生活、文化について伝え、国際理解について認識を深めさせる。

○研修会の講義で学んだことの紹介

羽生市では、国際理解研究部主任研究協議会を8月に実施し、その際に、バヌアツ共和国に社会貢献活動に参加した講師（坂口健太先生）をお招きして講演会を開いた。その際にお聞きしたお話を基に、他の職員や児童に異国の生活の様子や文化等を伝えることができた。

○海外生活経験者による文化紹介

本校の職員の中に短期間ではあるが、海外留学経験者がいるため、児童達には外国での生活の様子や文化等を機会がある度に児童に伝えている。他の職員にも外国料理の作り方など伝える事で、外国の生活に対する関心が広まった。

○児童の感想より（一部）

- ・ バヌアツの習慣として行われている成人の儀式としてのバンジージャンプが、世界に広まり各地で実施されていることに驚いた。
- ・ ALTの先生は、いつも色々なことを教えてくれるので、外国の色々なことがわかった。ハロウィンをテーマにした授業では、魔女やミイラなどの英語での呼び方や、ハロウィンの様子などを詳しく教えてくれるので楽しく外国語を勉強することが出来た。
- ・ 外国（アメリカ）には、お金の中に25セント（1ドルを100円と考えると、4分の1にあたる25円玉）があることを知った。そのお話を聞いたとき、私は特に気にしなかったが、算数の問題などでは「 $25 \times 4$ 」や「 $100 \div 4$ 」などの問題が出てくることがあり、そのことを覚えていたので、参考にすることができた。
- ・ アメリカ合衆国のチョコレート菓子の甘みが非常に強かったり、炭酸飲料やジャンクフードを好むなど、日本との食生活のちがいに驚いた。